

カトリック

広島教区報

No. 105

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42
広島司教館内
TEL (082) 221-6017

広島司教区の 新司教決まる 白浜 満 被選司教

ローマ教皇庁は、六月二十八日、日本時間十九時、広島司教区の司教としてアレキシオ白浜満師（五十四歳）が任命されたことを発表した。奇しくも、三末篤實名誉司教が帰天（二面に記載）された日の夜であった。

司教叙階式は九月十九日（月・祝）



アレキシオ白浜 満 被選司教

広島司教区では、二〇一四年八月二十日に、前田万葉司教が大坂大司教区に任命されてから司教座空位が続いていた。

アレキシオ白浜満被選司教は、一九六二年五月二十日生まれの五十四歳。現在は、日本カトリック神学院・院長。長崎大司教区、サン・スルピス司祭会に所

白浜満被選司教の言葉

この度、教皇フランシスコにより広島司教区への任命を受けた白浜です。

これまで二十一年間、神学院でしか働いた経験がなく力不足の私ですが、「平和の使徒となろう」という目標を掲げる広島司教区の皆さんの宣教司牧に「きょうどう」できることを本当に嬉しく誇りに思います。皆さん、どうぞ私にできることを教え、私を広島教区の「新司祭」のようにお使いください！
これから末永く、よろしくお祈りします。

司教叙階式

日時：二〇一六年九月十九日（月・祝） 十三時半

場所：広島司教区司教座聖堂（世界平和記念聖堂）

主司式：トマス・アクィナス前田万葉大司教

受階者：アレキシオ白浜満被選司教

（大坂大司教区）

広島司教決まる・じゃけえのう
三末司教帰天・平和行事・教区の動き・J-CaRM
尹兌榮新司教叙階式
予備神学校・世界平和記念聖堂関連
地区・海峡からの風・施設・青少年・ひと粒

一面
二〇五面
六〇七面
八〇九面
十〇十二面

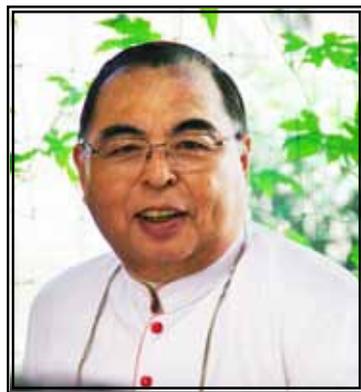


「じゃけえのう」とは広島弁で「だからね」という意味。

私は、今年の三月に洗礼を受けました。正直、こんな日が来るとは思っていませんでした。恥ずかしながら、カトリックの大学に入学したおかげで、日本人にもキリスト教信者がいることを知ったほどです。こんな私が洗礼を受けるにあたってきつかけには、二つの大きな出会いがありました。一つは、大学のキャンパスミニストーリーでの一人のシスターとの出会いです。なぜその時、キャンパスミニストーリーに立ち寄ったかは覚えていません。しかし、それがきっかけで、その年の夏に開催されるAYO（アジアン・ユース・デー）へ一緒に行くことになりました。ただ、楽しそうという思いで行った先には、私にとってとても大きな経験と出会いが待っていました。そこで初めて、「キリスト教の考

えつて素敵だ！」と思ったのです。もう一つは、広島土砂災害のボランティアでの出会いです。起こった災害はとても悲しいものでしたが、ボランティアのベースでは、一人の助祭と多くの仲間たちが温かく迎えてくれました。導かれたかのようにご縁があり、また、そこには居心地の良さを感じました。この大きな二つの出会いからたくさんの方の教えに魅力を感じるようになったのです。これからはきつと、神さまの優しい仕事です。こんな未熟な私にも、神さまはお恵みを与えてくださるのです。ありがたいなあ。このお恵みを、感謝と笑顔に代えて、たくさんの方たちに与えていきたい、こんなことを考えながら私は毎日過ごしています。（青少年情報センター 石井美咲）

三末名誉司教様 帰天



神に感謝!
皆様に感謝!

天国の片隅にて

三末篤實名誉司教様は、一九三六年、平戸市宝亀町でお生まれになりお兄様二人、お姉様、弟様、妹様の六人兄弟。一九六二年に山口大司教様より司教叙階。飽の浦、大浦、浦上教会の助任司教、一九六九年に神ノ島教会で主任司教にられました。一九七一年、長崎教区カトリックセンター司教企画室長。一九七三年、俵町教会主任司教。長崎での司牧活動では、特に若者労働者のグループ「OC」を立ち上げ、多くの青年を

六月二十八日(火)未明、三末篤實名誉司教が、急性心筋梗塞により八十歳で帰天されました。亡くなられる直前まで、食が少し細くなられた印象のほかには特に変わった様子はありませんでしたが、十九年間続いた腎臓病による週三回四時間の人工透析に加え、昨年は、不整脈のため心臓ペースメーカーの手術も受けられました。体への負担も相当なものになり、二十七日(月)翠町教会で夕食を摂られた後、翌未明、就寝中、父である神のもとに召されました。

指導されました。一九七九年から、カトリック中央協議会事務局次長、事務局長。一九八一年教皇ヨハネ・パウロ二世来日を準備。一九八四年に長崎教区に戻り、出津教会主任を経て、一九八五年、教皇ヨハネ・パウロ二世の任命により司教に叙階され、第五代広島司教区の教区長にられました。

世に「だっこ」されて、「You're a joyful Bishop」(あなたは、愉快的司教様ですね)と言われたこと。教皇様を囲んでの食事のとき、よく「隣に来なさい」と言われ、緊張しながら食事をしたこと。遠くから司教様を見つければ「オー ジョバネ ヴェスコボ デイ ヒロシマ」(お若い広島の司教さん)と教皇様自ら声をかけられ握手をもとめられたこと、司教様は、外国語が苦手なことを説明するため「Because I'm made in Japan.」(私は日本製だから)と教皇ヨハネ・パウロ二世に冗談を言われたことなど数えきれ

ません。

広島司教区の教区長として、平和の実現のためのメッセージを発信。二年に一度の教区内すべての小教区を巡る公式訪問、八月の平和行事、教区報発刊など人工透析を受けながら二十六年間忙しく公務を行われました。

二〇一一年教区長退任後は、翠町教会に住居を移し、小教区の主日・金曜日のミサを担当されるなど退任されてからもなお司教に専念されました。明るく、優しく、気前がよく、周りの人を思いやり、ご自分の体調などお構いなし、よく冗談を言われ周りの人々

を笑わせていたことが印象的です。司教様は、いつも「聖人になられた教皇ヨハネ・パウロ二世の足にぶら下がって天国に連れて行ってもらおう。努力して、天国の片隅にでも入りたい。」とおっしゃっておられました。

司教様の葬儀では、エリザベト音楽大学による弦楽四重奏で送り出され、参列者には司教様が好んでおられた「もみじ饅頭」が配られました。

今、目を閉じると司教様が天国の片隅で「神に感謝! 皆様に感謝!」と言われているような気がします。(三登 昌二)



葬儀で配られたカード。二〇一〇年七月四日、柳井教会の司教公式訪問でのミサにて。

広島司教区 2016平和行事

今こそヒロシマから～神のいつくしみの道具となろう～

8/5 金

○13:00～14:30 シンポジウム

「戦後100年に向けて、わたしたち若者はどのように
平和を実現していくか」

コーディネーター：松浦 悟郎 司教 (名古屋司教区)

場所：世界平和記念聖堂

○15:00～16:30 分科会

①広島被爆証言 朴 南珠 さん (観音町教会)

場所：世界平和記念聖堂

②広島被爆証言 Sr.荒谷 明恵

(ナミュール・ノートルダム修道女会) 場所：地下聖堂

③福島の現状「かけがえのない大切な命」

南原 摩利 さん、山田 雅之 さん (カリタス原町ベース)

場所：カトリック会館研修室1・3

④子どもプログラム

場所：マリアホール

「伝えたい、今の平和を！」紙芝居等

中埜 房江 さん (呉教会)

⑤シンポジウム第2部

場所：多目的ホール

○17:30～18:10 平和の祈り

場所：地下聖堂

平和行進に参加されない方のためのプログラムです。

○17:30～ 祈りの集い原爆供養塔前 (平和記念公園内)

戦争犠牲者の安息と今も戦争・紛争・災害などで苦しんでいる人たちを思い起こし、原爆の犠牲となられた方々の前とともに平和を祈りましょう。

○18:00～ 平和行進

(原爆供養塔前～本通り～世界平和記念聖堂)

過去には自由に歌うことも行動することも出来ない時代がありました。二度とそのような時代にさせないという決意を新たにしつつ、平和を願い、平和への感謝をこめて、歌いながら行進をしましょう。

○19:00～20:15 平和祈願ミサ

場所：世界平和記念聖堂

人間の命を奪い、大地をも傷つける戦争への道を選び取らず、平和をともに築きあげる決意を全国からより集う人々とともに神にお捧げしましょう。世界各地の戦火がおさまること、また災害の爪痕に苦しむ方々の平安を祈ります。

○20:30～21:30 テゼの祈り

場所：世界平和記念聖堂



8/6 土

○6:15～7:15 宗教者平和の祈り

場所：原爆供養塔前

仏教・神道・キリスト教などの宗教者がともに集い、原爆犠牲者を思い起こし平和を祈ります。

○8:00～9:00 原爆・すべての戦争犠牲者追悼ミサ

場所：世界平和記念聖堂

原爆や戦争で犠牲になられた方々の永遠の安息と地上の平和を祈りましょう。

○9:30～12:30 世界平和記念聖堂案内

「ステンドグラス」「平和の鐘」「パイプオルガン」「聖堂扉」などを見て回りながら、戦争や原爆を二度と繰り返してはならない、何よりも平和を創りたいという熱い思いの証を受けとめましょう。

○9:30～12:00 ピースウォーク

場所：マリアホール前集合

世界平和記念聖堂⇒広島城軍都廣島の爪痕をめぐる

○18:00～ 原爆犠牲者のためのスピリチュアルコンサート

場所：世界平和記念聖堂

REQUIEM (フォーレ作曲) *エリザベト音楽大学同窓会

8/9 火

「ながさき平和の日」

○11:00～長崎原爆犠牲者追悼ミサ

場所：地下聖堂

原爆や戦争で犠牲になられた方々の永遠の安息と地上の平和を祈りましょう。

カトリック広島司教区・平和行事実行委員会
730-0016 広島市中区鞆町4-42 TEL 082-221-6017 FAX 082-221-6019

平和行事2016ポスター

教区の動き

平和の使徒推進本部

二〇一六年度(第一回) 広島司教区宣教司牧連絡会開催

去る六月十二日、二〇一六年度第一回広島司教区宣教司牧連絡会(以下、教区連絡会)が、広島カトリック会館多目的ホールで開催された。司祭、修道士、信徒の二十五人が出席した。

十四年九月から司教座空位により、教区宣教司牧評議会が開催できない(教会法五百十三条)ため、教区管理者である肥塚神父、平和の使徒推進本部の主催により教区連絡会が開催され、次のことが話し合われた。

議題は、最初に「教区宣教司牧活動の基本方針」「教区創立一〇〇周年に向けてのテーマの推進」「教区が取り組んでいる優先課題」について、全体概要の説明があった。

教区宣教司牧活動の土台

は、活動の源泉『平和の使徒となろう(教区固有の召命)』と三つの柱『平和・きょうどう・養成』である。その土台のもとで、期間限定活動(いつくしみの特別聖年、信仰年など)、優先的活動(創立一〇〇周年、四つの優先課題)、緊急的活動(震災支援など)が行われている。そして、小教区の宣

教司牧活動も教区の活動と緊密に連携しながら進められている。

この教区宣教司牧活動の中で二〇一六年度は、創立一〇〇周年に向けて最初の三年間『家庭へのチャレンジ』の最終年である。

今回の教区連絡会の議題の中心は、最終年として二年間の状況報告と本年度の方向性を分かち合うことであつた。また、推進本部から、二〇一四年七月から発行しているGAUDETTE(ガ

ウデーテ)の活用を促すことの紹介があつた。

全体概要の説明に続いて、各地区および伯雲ブロックからの報告と意見交換が行われた。報告では、広島地区で昨年行われた「家族大会」の成果としての冊子(「分かち合い」のわかちあい)が紹介された。本年度、この冊子をどのように

平和の使徒となろう



平和の使徒推進本部

のよう活用に、浸透させていくかに期待したい。

続いて議題は、教区が取り組んでいる四つの優先課題(司教座空位の状況の中で継続して行われる活動)について、報告と意見交換が行われた。

《青少年育成》 担当司祭である服部神父から、青少年が参加する行事として、ワールドユースデー(教区から四名参加予定)、教区練成会(翠町教

会予定)、フィリピン/インファンタ教区訪問、教区青年大会(幟町教会予定)に関する紹介があつた。

これからの若い世代の活性化には、教区民の関心と関わりが更に必要であるう。

《召命促進》

司祭養成として具体的に、前田大司教が掲げられた「十年間で十人の司祭叙階」を目指す。

その中で、予備神学校の活動の報告があつた。

意見として、教区では毎年「召命祈りの集い」を実施しているが、その集いに青少年の参加は少ない現状がある。召命のために、

もっと祈らなければならぬ。司祭、修道者とのふれあい、喜びを共有する場を、もっと多く作っていく

必要があり、練成会、中ブ口、青年大会などの機会

で、青少年たちが興味を抱き刺激されることを願っている。中ブ口や練成会の参加を促しても、なかなか参加しようとしないうるが、参加した子どもたちが報告会などを通じて、ア

ピールする機会を積極的に実施したい。

《教区共通力テキストの作成》 初聖体、堅信、結婚の教区共通テキスト(カテキズム)作成の専門委員会にて、テキスト案が完成した。しかし、司祭側の意見は、教区内でこのテキストを推進していくことは難しい状況であるとの見方をしている。ただし、完成し纏まっているので、強制はせず活用要望がある方には活用してもらうこととする。

今後、推進本部で最終的な方向性を検討する予定。

《津和野乙女峠殉教者列聖運動》 今後、司教協議会の中で検討、推進することが重要であり、現時点では、地道な運動を進めていくしかない状況である。

教区としては「乙女峠友の会」会員募集を精力的に推進し、会員数を増やしていく必要がある。

続いて議題は、「いつくしみの特別聖年」について、提案と報告が行われた。

新司祭誕生

パウロ尹兌榮 新司祭叙階式

ユンテヨン

四月二十九日(金・祝) 十四時から岡山教会で、パウロ尹兌榮助祭(広島教区)の司祭叙階式とペトロ・ホアン・ドゥク・ロイ神学生の助祭叙階式(広島教区)が行われた。広島教区司祭の叙階式は、マキシミアノ・マリア・コルベ猪口大記神父以来二年ぶりとなる。叙階式は、韓国からの司祭団、修道者、信徒も多く参列し八百名を超えた。主司式は、前田万葉大司教(大阪教区)。多くの司祭団と共にミサが捧げられた。



↑叙階式の集合写真
大勢の司祭団、修道者、信徒が集まった



←前田大司教からの授手を受ける
尹兌榮 新司祭

神に感謝

パウロ尹兌榮 新司祭



尹兌榮 新司祭

広島教区の信者の皆様方
こんにちは。

皆さんのお祈りとご支援のおかげで、今年四月二十九日に広島教区岡山教会で司祭叙階という神様の恵みを受け、岡山教会と岡山南教会の助任として働くことになった、パウロ尹兌榮と申します。あらためて、心から感謝いたします。

司祭叙階のミサは広島教区民と岡山教会の信者様たちの協力と奉仕のおかげで盛大に捧げることができました。母国である韓国から二十五人の司祭たちを始め四十人ぐらいの巡礼団が来てくださいました。

叙階式と初ミサのあと多くの人々が「素晴らしい叙階式のミサでした」、「感動しました」という話をたくさん信者から聞きました。韓国人である私が日本の広島教区で叙階されること、またその叙階式を通してなされる神の御業と摂理に私自身も感謝しました。

叙階されてもう二ヶ月近くなっています。まだ、信者から「神父様」と呼ばれる時に、「はい」という答えがすぐ出せないほど、神父になったばかりの新司祭なので、これから少しずつ慣れて行くのかなと思います。

広島教区の信者様！

まだ、新司祭として足りない部分や助けを求める部分が多いと思いますので、これからもお祈りしていただければ幸いです。そして、今神様が私に願うことについて思っております。私は足りない者ですが、この足りない部分を通して神様がそこで働いてくださることを確信しております！その確信に基づいて、広島教区のように働き手になれるよう前向きで生きたいと思えます。私もいつも主の平和が皆様と共にあることを願いながらお祈りしております。



喜びを分かち合う、前田大司教と尹兌榮 新司祭

カトリックさいたま教区 ルカ姜玫周神父

はじめまして。私は、広島教区とは全く縁が無さそうな、さいたま教区から来た者です。しかし実は、同級生の中に広島教区の神学生が二人もいます。彼らの叙階式にお邪魔していました。尹神父とは、神学校時代からの友達という腐れ縁で、またもお邪魔しました。来年で神学生として銀祝？を迎えるところだった尹新司祭は他人には無い特別な召命の歩みがあったと思います。それを少しだけ見ていた者として、彼の叙階式は胸いっぱい感動がありました。そして、いよいよ迎えた初ミサ。何十年ぶりの涙がこぼれるミサでした。感動の初ミサの中、彼の恩師の神父様が説教で、ある無名の詩人の詩を読ん

でございました。尹新司祭の召命とこれからの歩みへ送る言葉として、その一部を皆様に紹介させていただきますと思います。

私の背中に重荷が無かったら、私は、人間の道から逸れていたかもしれません。

この重荷のおかげで、いつも気をつけながら誠実に歩んできました。

今になってみると、重くて嫌だったこのものは、私を、正しく生きるようにしてくれた大切な賜物でした。

私の背中に重荷が無かったら、私は、愛を知らなかったと思います。

この重荷の重さで、他人のつらさを感じ、それを通して愛もゆるしも分かりました。

今になってみると、重くて嫌だったこのものは、私に、愛を教えてくれた大切な賜物でした。

カトリックさいたま司教区

太田教会

山田 忠良

パウロ ユン テヨン神父様！ 叙階おめでとうございませす。二〇一六年四月二十九日叙階ミサが始まって間もなく岡山教会の聖堂が突然昼下がりの光



床に伏す、尹 兗榮 新司祭とロイ新助祭

に明るく満たされました。この瞬間、御父のお望みと大勢の方々の祈りが一つになった事を強く感じました。ユン神父様の優しくうるんだ瞳に宿る強い決意と大きなお身体に溢れる喜びを感じ取り、群馬太田からの十二名の参列者は思わず涙ぐみました。太田教会では金大烈神父様によるご縁で数回に渡るご来訪でミサ後の歓談或いは韓国語の勉強会など小さな出会いの中にも何時も笑顔に癒され、優しい気持ちに包まれていた事が思い出されます。誰からも愛される賜物をいただいている神父様、これからの全てを御父にお捧げし、ご自分のアイデンティティーを生かした司牧ができません。太田教会にも遊びにおいでください。待っています。

すべては神様のお恵み

ペトロ ホアン・ドウク・ロイ新助祭

温かい春の訪れの喜びのうちに、四月二十九日、わたくしはトマス・アクイナス前田万葉大司教様をはじめ、ヨゼフ三末篤實名誉司教様、養成担当の神父様方のご指導、修道会の皆様、司祭団と多くの信者の方々に見守られて、岡山教会で助祭叙階の恵みを頂きました。感慨無量の喜びです。そして、当日に多くの皆様は叙階式に参列して下さったことを心より感謝いたします。十二年間司祭職を目指し、五年間日本カトリック神学院で養成され、神様が色々な形で、絶えずわたしの上にお恵みを注いで下さったことを、この度改めて感じております。

これまで、多くの方々のお祈りと励ましを頂いたからこそ、この日は「人生の春」の日となったと思います。このお恵みによって人生は変わっていくでしょう。それは自分の力ではなく神様の恩恵です。すべては神様からの無償の賜物です。特に、深く感じたのは私たちの叙階式のために広島教区の皆様様が様々なことを準備してくださりと、多くの信者の方々のお祈りと御支援を受けた事で本当に心

から感謝申しあげます。

助祭叙階のお恵みを受けたわたくしは、これから本格的に奉仕職の使命を始めることになりましたが、それは、御言葉の奉仕、典礼の奉仕、愛の奉仕です。すなわち、福音の喜びをのべ伝える者となるのです。助祭に叙階されましたが、司祭団に加えていただくために、助祭職を果たしながら、これからも、しっかりと準備を続けて行きたいと思えます。今年の目標は「人の痛みが分かる司祭」になることを望みます。どうぞ、この目標を果たすことができるように皆様に祈って頂きたいと思えます。

今年、日本カトリック神学院で最終六年目として、助祭コースに参加しています。そして、司牧実習は東京教区の習志野教会でお世話になっております。習志野教会は大きくて、信者の数も多いです。日本人の信者だけでなく、外国人の信者と共に創る教会の姿を感じております。習志野教会で色々な活動に参加し、教会のことを学びながら、そこに集う様々な背景の皆さん(信者、未信者、外国籍の方など)と関わっていきけるようになりました。

これから「出向いて



ロイ新助祭

いく」私は助祭の務めとして奉仕に励みつつ、時には、困難な事に会ったり、辛い事にも出会ったりするでしょう。どんな時にも堅固な決意をもって生涯を神様にお捧げし信仰、希望、愛をもって、神のみ旨に従い、神の道具として成長していきたいと思えます。ちなみに、わたくしは弱い人間ですが、神の助けによって、相応しい司祭になることを望んでいます。ですから、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮される」(二コリント十二・九)という御言葉を確認しております。

最後に、召命のためにお祈り、犠牲をささげてくださっているすべての恩人の方々を祝福し、それぞれの務めを喜びのうちに果たしていくことができるように導き、神様のお恵みが皆様の上に豊かにあるように祈って参りたいと思えます。今後とも、ご支援とお祈りをどうぞよろしくお願いいたします。

予備神学校
第十回目を迎えました

広島教区予備神学校は今年度で二年目を迎え、去る六月には第十回目を実施することができました。担当司祭、スタッフ、リーダーともに少数でありながらも、ここまで継続することができたのは皆様のお恵みと皆様のお祈り、ご支援によるものです。教区の皆様には心から感謝いたしますとともに、これからもより一層のお祈りとご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ともに感謝のミサを捧げました

予備神学校では沈黙の時間を大切にしていきます。現代社会は目まぐるしく忙しく、そして、携帯電話やテレビなどが溢れかえっています。社会が発展し、娯楽

が増えていく中で沈黙の時間、価値は失われているように思えます。沈黙は何か邪魔で余計なもの、人間の心には不必要なものと思われ、見做されているようにさえ感じます。しかし、預言者エリヤは激しい風や地震、火の中にではなく、静けさの中に神様の声を聞いたのです。(列王記上十九・十一-十三) イエス様も度々、人里離れた所で祈られ、弟子達には、奥まった自分の部屋に入つて、戸を閉めてから祈るようお願いになりました。(マタイ六・六)

この予備神学校では日常を離れて、共に神様を深める時間を送ります。それは沈黙の価値を見つけ、取り戻す良い機会となるでしょう。さて、去る六月の予備神学校では「五千人に食べさせた奇跡」と「ダビデとゴリアテ」の実践教理を行いました。「五千人に食べさせた奇跡」は、四福音書すべてに記されている数少ない出来事の一つです。福音記者達はこの出来事に大きな熱意を持っていたことで

しよう。子ども達にはぜひ深めてもらいたいと日々考えてきました。実践教理の特徴は、様々な道具を使って聖書の場面を再現することにあります。実際に食べられるパンを使つての実践教理は、子ども達に深く印象を残したように思えます。 「ダビデとゴリアテ」の実践教理では、ダビデの姿から信仰の模範を学びました。ダビデは一切を神に委ね、臆することなく巨人ゴリアテに立ち向かいました。子ども達はこれから大きな壁や困難にぶつかることでしょう。そのような時に、何も持っていないと嘆くのではなく、ダビデのように神に信頼し、乗り越えることができるよう祈ります。

今回の第十一回予備神学校は、十一月二十六日(土)〜二十七日(日)に開催されます。たくさんの方を誘つてご参加ください。共に恵み豊かな時間を送りましょう。司祭、スタッフ、リーダー一同お待ちしております。

**マザー・テレサ列聖記念写真展
片柳弘史神父 講演会**

| | |
|---|---|
| ●広島会場 | ●岡山会場 |
| ・写真展 9.22(木)ー10.2(日) 9:00ー17:00 世界平和記念聖堂 | ・写真展 10.8(土)ー10.16(日) 9:00ー17:00 カトリック岡山教会 |
| ・講演会 10.2(日) 11:00ー12:30 世界平和記念聖堂 | ・講演会 10.15(土) 13:30ー15:00 カトリック岡山教会 |

尾道教会建設資金
返済のお知らせとお礼

皆さま方へ
十主の平和
新緑の候、広島教区並びに中国五県小教区の信徒の皆様さま方に於かれましては益々ご健勝の事と存じ申しあげます。

さて、尾道教会に於いては二〇〇八年教会建設新築時に教区より借り受けました1億2301万2158円を今年二〇一六年四月をもって全額返済する事が出来たことをご報告いたします。

当初の返済計画では、十六年間でしたがその半分

(八年間)の期間で返済出来ました。

教区始め、中国五県小教区全ての信徒の皆様さま方の篤いつくしみの信仰と献身的なご協力に支えられた賜物です。

尾道教会信徒全員で皆様方のご協力に対し心から深く感謝申しあげます。

本来ならば、丁寧にお礼申し上げたい所存ではありますが諸般の事情柄失礼とは思いますが教区報の書面をお借りしてお礼とご報告に代えさせて頂きます。

神に感謝!
二〇一六年五月二十二日
尾道カトリック教会
主任神父 服部大介
信徒一同

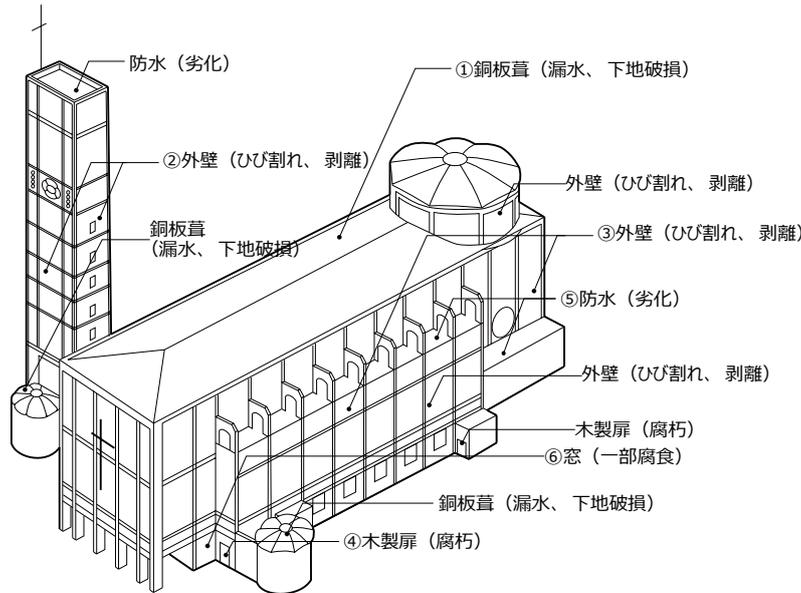
重要文化財 世界平和記念聖堂
耐震補強・改修工事ご協力をお願い

広島司教区の
 信徒の皆様へ

世界平和記念聖堂は、広島教区の司教が教区長として教区内の信徒を教導し、司式するための「着座椅子（カテドラ）」が置かれた聖堂で、教区の母なる教会堂です。私たちは、この司

教座聖堂（カテドラ）を次世代に引き継いで行きたいと考え、今年度より聖堂の耐震補強と改修工事を行うことに致しました。教区の信徒の皆様には、聖堂保存の意義をご理解の上、ご支援くださるようお願い申し上げます。

広島教区では、世界最初



■耐震補強の概要

聖堂本体：玄関吹き抜け部分の脆弱部分の対策（小玄関等の鉄骨補強など）
 鐘塔：支持地盤までの杭打ち、地盤の液状化対策、PC鋼棒及び鉄骨による補強

■保存工事の概況

- コンクリート劣化部分の補修と劣化防止対策
- 銅板葺大屋根の葺き替え
- 小屋裏の鉄骨トラスの補強
- 内壁の亀裂・浮きなどの補修
- 内陣ドームの鉄骨補強と内装補修
- 鋼製建具等の補修
- スタンドガラスの劣化部補強と飛散防止対策
- ペンダント照明の補修
- 内陣天井の漆喰落下防止対策
- 屋根シート防水の更新
- 老朽化した電気設備、空調設備の更新など

■工期：2016年10月～2019年3月

の原子爆弾による悲惨な戦争体験を持つ教区として、「平和の使徒になろう」をテーマに各種の召命・宣教活動に取り組んでおります。記念聖堂を「平和を祈念する聖堂」として保存、活用して行くこともそれらの取り組みの一つです。先般、列聖された聖ヨハネ・パウロ二世は広島の中から世界に向けて「戦争は人間の仕業です。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。」と平和アピールを世界に発し、私達が歩むべき道を示されました。記念聖堂はその言葉を証しする使命が与えられた聖堂です。

聖堂にあるドイツ・ミュンヘン市から寄贈された説教台に「平和を宣べ伝える」と言葉が添えられています。私たち広島教区の信徒は、聖堂建設の訴えに応えていただいていた世界中の人々の平和の願いと祈りを忘れることのないよう心に刻み、「平和の灯（ともしび）」が消えることのないよう、記念聖堂を明日の世代に引き継ぎ、平和を宣べ伝えて参りましょう。

世界平和記念聖堂
 保存活用委員会委員長

斎藤真仁神父

幟町教会主任司祭
 ドメニコ・ヴィタリ神父

**世界平和記念聖堂募金
 郵便振替口座**

口座名：カトリック広島司教区

口座番号：01320-3-109791

*通信欄に「聖堂保存献金」と記入してください。

外尾悦郎さん講演会「美しさとは」

人として生きて行く根本に美しさを求める精神があります。
 人の心の奥深くに埋め込まれた美しさ・意義を共に見つめてみたい。

日時：2016年8月11日（木・祝） 14：00～15：30（開場13：30）

講演：外尾悦郎（彫刻家、サグラダ・ファミリア主任彫刻家）

場所：世界平和記念聖堂（カトリック幟町教会）730-0016 広島市中区幟町4-42

入場無料：入場料はいただきませんが世界平和記念聖堂維持のための献金をお願いいたします。

主催：カトリック広島司教区



地区便り

山口島根地区

第三十回山口・島根地区カトリックボランティアの集い

六月四日(土) 長府カトリック教会にて「第三十回山口・島根地区カトリックボランティアの集い」が開催されました。石田(祇園教会信者)先生の講演「傾聴ボランティア(心のケア)」のアンケート内容から「もっと深く学びたい」等の意見が多数寄せられていました。秋から山口島根地区の福祉部主催で、研修会を開く予定(全五回)です。

聖書講演会の講話のCD

京都教区聖書委員会主催の聖書講座、聖書講演会の講話のCDシリーズ(二〇〇〇年〜一六年)をやっと備えることが出来ました。有意義な講話ばかりです。自分で自分を養成するため、借りて聴いてみてください。申し込みは、山口島根地区センター(TEL083-924-2931 FAX

083-923-6363)まで。

〈内容〉神の恵みと私たちの信仰生活

古巣馨神父講話CD

古巣馨神父(長崎教区)が「ペトロ岐部と百八十七殉教者の列福式」を記念し、二〇〇八年大阪の教会で行った講演内容が好評です。講演はCD七枚に記録され岡山鳥取地区、広島地区、山口島根地区の信者の方々(二十七名)により文字に起こしていただき編集し、「この路を」と名付けました。使徒職団体、勉強会、さまざまな活動グループのみなさんでこの資料を読み、分かち合いとして活用できたら良いと思います。例えば、CD一枚ずつ行えば、七回の分かち合いが出来るでしょう。

岡山鳥取地区

聖体授与の臨時の奉仕者養成講座

二〇一六年岡山鳥取地区「聖体授与の臨時の奉仕者」養成講座が六月十一日(土)十三時半より、カトリック倉敷教会で、笠岡教会の山口道晴神父様を講師



山口道晴神父

に迎え、第一回講座が行われました。

講座に先立ち担当司祭倉敷教会のバルト神父様より「主イエスは御父のみ心を行うために、世に来られ、苦しむ人、困っている人、悩んでいる人の友となりました。体を備えてくださった神は今、私たちをも恵みと平和を伝える道具になるように呼びかけました。」と挨拶がありました。

この講座は六回行われますが、一回〜三回までは誰でも関心のある方は講座に参加することができます。新しく聖体授与の臨時の奉仕者に指名された方は六回受講します。

山口神父様は「御聖体の神秘について」聖体に

海峡からの風 41

下関労働教育センターだより

隔てを越えて

広島教区の西端、下関から海峡を隔て、福岡教区の北端、北九州が展開します。最近「北九州・関門ブロック」と呼び、外国籍の人々との共生文化を生きたこと、労働者の社会・生活を見直すグループの活動など境を越えて行われています。何らかの違いが対峙する境を越える交流の場に、新しいのちが湧き出ます。

流の人類の希望の方向があったのに、です。EU加盟条件の一つが、死刑制度廃止国であるとき、国家が人間の生命を殺せないという、国家が戦争によって国民を殺せることへの抵抗に繋がるからです。身近な事で、一昨年静岡地裁で再審可決に成った死刑囚袴田さんの再審開始を祈りと具体的連帯努力で、この国の司法権力に向かいたいです。

もっと大きな海峡を隔て、英国のEU離脱は先行き不安な出来事です。フランススコ教皇の指摘される、現代世界の「格差と排除」の現状からのからの脱出(エクソダス)の後退とも見えます。一大要因の難民問題は、戦争・紛争・テロ等の深い原因である世界の格差だと思えます。自国の生活・労働・文化を守る為の排除が生じるのは当然ですが、それを止める人類の成熟は未だなのです。折角国家の境を越えた連帯と交

この教区報が出る時は、七月十日の参院選の結果がこの国行く先をどの様にしているか。どの様な結果であっても、「日本国憲法の不戦の理念を支持し尊重するのは当然の事です。戦争放棄は、キリスト者にとってキリストの福音そのものからの要請であり、宗教者としてのいのちを尊重する立場からの切なる願いであり、人類全体にとつての手放す事の出来ない理想なのです。」(日本カトリック司教協議会常任司教委員 会：二〇一六年四月七日) (林尚志神父)

本の紹介



片柳弘史神父 著
PHP研究所

The Hope

あなたのままで輝いて

心をあたたかさで包み、
小さなことばたちが
生きる力を与えてくれる
大切な一冊……

聖パウロ書院で販売しています。

は、御からだと御血とだけ
でなく、キリストの霊と三
位体の神も共におられるこ
と、拝領は、私たちの魂を
養う食物として受けること
と、時にはユーモアを交え
ながら分かり易く話されま
した。
次回は荻神父様を迎えて
「キリストの呼びかけに」
と題して行われます。

広島地区

***いつくしみの特別聖年
ゆるしの秘跡・ミサ**

・十月十六日(日)
「実践上の注意と実践指
導」／講師：斎藤眞仁神父
(観音町教会)

・七月二十四日(日)
「キリストの呼びかけにこ
たえるものとなるために」
／講師：片柳弘史神父(宇
部教会)

・九月十一日(日)
「キリストのお供をするも
の」／講師：牛尾幸生神父
(イエズス会庚午修道院)

・十月二十八日(土)
第一回二〇一七年
十月十五日(土)

・一月二十八日(土)
第八回二〇一七年
四月二十二日(土)

時間：十時～十六時
指導：塩谷恵策神父(イエ
ズス会・西日本靈性
センター代表)

場所：観音町教会聖堂
***「聖体授与の臨時の奉仕
者」養成講座**

場所：祇園教会
***平和を祈るテゼの集い**

九月二十二日(木) 十時～
場所：祇園教会
***地区宣教司牧評議会**

十月二日(日) 十四時～
十六時／場所：広島カト
リック会館多目的ホール
***地区女性連合会キリシタ
ン巡礼の旅(北陸・石川)**

日程：十月四日(火)～六
日(木)

認定証番号 氏名(教会)
第0008号 丹藤浩二・東亜子(尾道)
第0009号 五代儀 幸枝(岡山)
第0010号 堀越 明子・瑤(水島)
第0011号 寺下 敦子(岡山)
第0012号 黒田 三千代(幟町)
第0013号 広瀬 昌子(幟町)
第0014号 前田 輝男(幟町)
第0015号 山本 邦子(幟町)
第0016号 植 和子(幟町)

教会スタンプラリー完了

- 尾道教会の信徒、スタン
スラオ西山恭平様より、
故西山幸子様葬儀のお花
料のお返しとして、広島
司教区へ献金をいただき
ました。お礼とご報告を
申しあげます。
広島司教区

感謝

香典返し

感謝
香典返し

広島教区の施設 シリーズ 巡回教会めぐり 30 米子小教区 境港教会

鳥取県と島根県の境に位置
する米子小教区境港巡回教会
は信仰深い数家族を礎として
淳心会の神父様方のお力添え
で設立されました。一九六六
年六月五日、野口司教様の司
式で、献堂式のミサが捧げら
れ、聖ペトロを守護者としま
した。

「境港市が漁港であること
から、漁師であったペトロこ
そ、その守護者として最も相
応しいと考えられたからで
す。」

一九九〇年九月二十四日に
は、境港教会設立二五周年祝
賀ミサが、三末司教様をはじ
め十一名の神父様方によつて
捧げられました。「小さな教
会ながら、予想以上に沢山の
方にお祝いをして頂き、心強い
ものを感じました。」そして
また二〇一五年十一月三日に
は、献堂五〇周年を米子教会
八〇周年と併せてお祝いた
しました。

境港教会は日本で働くブラ
ジル、フィリピン、ベトナム、
の信者達といっしょにミサを

捧げています。たくさん
の信者がミサに参加し各国語
で典礼を行っています。今
年の聖霊降臨の日には八名
の子どもの初聖体も行
われました。ミサ後は茶話
会をしたり各国自慢の手料
理をおいしくいただき家庭
的な雰囲気です。次は二十五年こそ私達
の信仰、聖霊の恵によって
キリストの光を灯台の灯光
のように輝かせる教会にし
たいと思います。

これからも、平和な世界
になりますようにまたキリ
ストの福音が伝わりますよ
うに祈ります。
境港教会の御ミサは第
一、第三日曜日午前十一時
より始まります。



米子小教区 境港教会

青少年の活動

「広島教区青年大会」
今年もやります！

「広島教区青年大会 2016」を九月十八日（日）～十九日（月・祝）、カトリック三篠教会で開催します。対象は十八歳以上（高校生不可）。

テーマは「アレキシオ白浜 満司教叙階式SP」です。

待ちに待った司教様が やつと決まり、青年たちも大喜び。この喜びをみんな



「感動することの色々」

檣灯センター

ミッシェル・デウィルデ神父

人間誰もが心の健康を保つために、たびたび感動的な場面に出会う必要が有る。ここで、最近二つの全然異なった内容のミニ感動体験をしたので書いてみる。先ず「枇杷の実の話」と、もう一つ



〈89〉

で分かち合おうと、今年の青年大会は司教叙階式に合わせて行うことにしました。記念すべき青年大会になりそうな予感。ぜひ多くの青年たちが集まって、いっしょに新司教様を気持ちよく迎え入れましょう！

昨年初めて青年大会を経験し、「こんなにも楽しい素敵な出会いがあるんだ！」と感じました。この気持ちをより多くの人に感じてほしい。沢山の人が集い、分かち合える場を作りたいです！（幟町：石井美咲）

テゼ、青年ミサなど…お恵みいっぱいのお礼になるよう準備しています♪ともステキな時間を作りましょう。（幟町：中塚汐音）

やる気満々頑張ります！！（日高詠奨）

今年初めて青年大会に参加するので、スタッフという立場ですが青年大会がどのような場所なのか、これから学んでいきたいと思っています。未熟な部分が多くありますが、頑張っていきたいです。（呉：風呂井薫）

あんなにワクワクする素敵なテゼや、あんなに面白いと思えるミサができるのは、他に無い、青年大会の魅力だ！！昨年典礼スタッフとして青年大会に参加し、そう強く感じました。今年は、もっと多くの人とこの気持ちを分かち合いたいです！（幟町：益田なお）

広島JOC「平和学習会」のお知らせ

被爆証言を聞き、伝える。
平和について学び、考え、人と関わる場を作る。
自分の身近な平和について考え、Actionを起こす。

日程：8/27（土）～28（日） 場所：幟町教会
参加費：3,000円 対象：JOCメンバー、青年、協力者
宿泊：幟町教会に宿泊可能。前泊もできます。
問合せ：観音町教会 広島JOC担当 飯田知香

「広島教区練成会」

日時：八月九日（火）～
十一日（木・祝）

場所：カトリック翠町教会
対象：小学五年生～中学三年生

テーマ：「マザーテレサから学ぶいっしょに」

今年もたくさんの方の参加をお待ちしています。詳細は各小教区配布の案内をご覧ください。



「草葉の陰からお祈りします」が口癖でした。

祈りとミサが中心の日々を送られていた三末司教様。亡くなられた今も、私たちの傍、草葉の陰から、平和のため、広島司教区のため、私たちの幸せのために祈っておられることでしょう。（女）

